

D 世界史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ～Ⅲとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

古くより、世俗を離れて禁欲生活をおくることは、信仰を深めたり精神を鍛えるのに適している、と考えられてきた。古代インドでは、業（カルマ）により定められた（イ）からの解脱方法として、（ロ）が禁欲的苦行と（ハ）の実践を説いてジャイナ教を創始した。仏教を創始したガウタマ＝シッダールタは（ニ）・八正道による解脱を説いた。仏教もジャイナ教も、世俗を離れた者の、つまりは出家者の解脱を説いていた。

キリスト教世界をみると、3～4世紀のエジプトに、世俗を離れて砂漠に向かい、孤独な禁欲と清貧の生き方を実践する信徒があらわれた。彼らのなかに様々な結びつきが生まれ、グループが組織されて共同生活が営まれるようになった。エウセビオスはこうした使徒的苦行者について記している。また、聖書をギリシア語やヘブライ語からラテン語に訳したことで知られる（ホ）は、4世紀末に修道制について記している。

修道院ができ、その数も増加して修道生活も多様化すると、真の禁欲的な修道生活を実現するための修道院規則が多数つくられた。その中でもカトリック世界に強い影響を与えたのが、6世紀にモンテ＝カッシーノ修道院のために著されたベネディクトゥスの「戒律」である。これは修道士に厳格な「清貧・純潔・（ヘ）」を課した。この「戒律」は各地の修道院に受け入れられた。

人里離れた地が修道院の立地として理想的と考えられてきたが、フランク王国ではこれに宗教政策的動機が加わった。未開の地に修道院をおくだけでなく、これを中心とする都市を建設して、ここを宣教活動の基地にしようとしたのである。カール大帝は、この周到な計画による植民活動という面をもつ王立修道院建設をすすめた。²⁾また彼は修道院に学校をつくることを命じた。こうして修道院は、宣教・住民の司牧・文化的活動の中心地となり、カロリング＝ルネサンスの重要な担い手となった。

³⁾10世紀はじめに建てられたクリュニー修道院は、さきの「戒律」を修正したものに従う多数の修道院を指導する立場となり、階層的秩序をそなえた修道会を形成した。この修道会は11世紀には教会の改革運動の先陣に立った。

⁴⁾クリュニー修道会が権勢を誇り規律を弛緩させると、それを批判したのが、本来の「戒律」を厳格に実践することで名を高めた（ト）修道会である。この修道会は、小作料や十分の一税を否定して「修道士は、自らの手になる労働によって……自らの食べ物を得なければならない」と定めた。ぜいたくを排した厳しい清貧の実践で名をあげた（ト）修道会は、それほど富裕でない領主たちから荒野や廃村地域の寄進を受けるようになった。この修道会は大開墾運動の時代をリードした。

⁵⁾

カタリ派系の異端の一派である（チ）派が盛んな南仏地域において、スペイン出身のドミニクスは宣教団に加わり、巡回説教を行った。この経験から彼は、教区司祭の任務たる説教を新たに修道士団の任務とする許可を教皇から与えられた。また、同時期にイタリアでもアッシジ出身の（リ）が托鉢修道生活を行って支持者を集め、（リ）修道会の成立に道を開いた。

十字軍の時代には、聖地巡礼者のための病院や救護施設として成立した団体から、テン⁶⁾ブル騎士修道会や、マルタ騎士団とも呼ばれた（ヌ）騎士修道会などが生まれた。のちに十字軍最後の拠点となった都市（ル）に本部を置いたドイツ病院兄弟団は、すでに皇帝やドイツ諸侯から病院や所領の寄進と保護を受けていた。しかし、皇帝が死去して多くの諸侯が帰国すると、残されたこの兄弟団は自力で存続の道を探り、病院と戦闘力をもつドイツ騎士修道会として1199年に教皇の承認を得て、国家形成をめざすこととなる。1225年には武力をみこまれポーランドに招かれた。彼らは教皇や皇帝を味方につけ、異教徒プロイセン人の領土を侵略して獲得する許しをえた。これ以降プロイセン征服に本格的に着手し、プロイセン人の反撃を抑えて13世紀末には計画的植民を始めた。14世紀後半には、ヤゲウォ朝の成立によりリトアニアがカトリックとなったが、ドイツ騎士修道会⁸⁾はリトアニアの改宗を偽装だとして攻撃・侵略を続けた。その結果1410年のタンネンベルクの戦いでドイツ騎士修道会はヤゲウォ朝に敗北した。フスを異端とした（ヲ）公会議で、ドイツ騎士修道会は相手側の反キリスト教的性格を非難し、異教徒との戦争は正しい聖なる戦争であり、獲得した地方も正当な支配・所有の対象だ、と訴えた。こうした考え方は隣人愛に反し、非合法に奪うのは強盗だ、とする批判もあった。

16世紀には、この批判と同様の立場から、ドミニコ会修道士ラス＝カサスがスペイン人征服者たちの所業を告発している。征服者たちは、先住民をスペイン国王に帰順させてキリスト教化するという名目で征服地に（ワ）制をしいてインディオを酷使し、さらに宣教者の活動を妨害して先住民虐殺や強奪を続けていた。ラス＝カサスは、インディオが理性的存在であるとして先住異教徒の諸権利を否定する思想や行動と戦った。人間の本性にもとづき万人に適用される法があるという（カ）思想は、近代的人権の考え方を基礎づけているが、ラス＝カサスはその思想の先駆者といえよう。

宗教改革の展開の中でイグナチウス＝ロヨラらの結成したイエズス会は各地に学院を設けてこれを活動拠点とし、教育・宣教活動に努めた。明に渡った宣教師マテオ＝リッチは、『農政全書』の編纂者（ヨ）らと『幾何原本』を刊行してユークリッド幾何学を紹介した。また明末清初に活動したドイツ人宣教師（タ）は清の天文台長官となっている。この時代以降多数成立した修道会には、イエズス会をはじめとして司牧的社会的実践活動

の重視という特徴が強く見られた。

A. 文中の空所(イ)～(タ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部(1)～(8)にそれぞれ対応する次の問1～8に答えよ。解答はそれぞれに与えられたa～dから1つずつ選び、その記号をマークせよ。

1. この人物の著作はどれか。

- a. 教会史 b. 告白録 c. 自省録 d. 対比列伝

2. この人物が行ったことでないものはどれか。

- a. アジア系のアヴァール人を撃退した
b. ザクセン人を服属させた
c. 地方の有力者を伯に任じた
d. ラヴェンナ地方を教皇に寄進した

3. この文化運動の中心地となった都市はどれか。

- a. アーヘン b. パリ c. マインツ d. ルーアン

4. これを進めた教皇と聖職叙任権をめぐる争い、1076年に破門された神聖ローマ皇帝は誰か。

- a. オットー1世 b. カール4世
c. ハインリヒ4世 d. フリードリヒ1世

5. 同時期の中国でも開発が進み新たな穀倉地帯があらわれ、ことわざに「くあ熟すれば天下足る」といわれた。空所くあにあてはまるのはどれか。

- a. 漢陽 b. 金陵 c. 江浙 d. 湖広

6. イェルサレムをめぐる第3回十字軍が戦った相手はどれか。

- a. アイユーブ朝 b. セルジューク朝
c. ファーティマ朝 d. マムルーク朝

7. この国とドイツの諸侯連合軍をリーグニッツ(ワールシュタット)で破った勢力が建てた国はどれか。

- a. イル＝ハン国 b. オゴタイ＝ハン国
c. カラ＝ハン国 d. キプチャク＝ハン国

8. この時期の出来事はどれか。

- a. 足利義満が明に朝貢を始めた
- b. 航海王子と呼ばれたエンリケがアフリカ西岸の探検を奨励した
- c. 神聖ローマ皇帝カール4世が「金印勅書」を發布した
- d. 百年戦争のさなか、イギリスがクレシーの戦いで勝利した

C. 文中の下線部 と同名の戦闘が1914年にもあった。その戦闘で勝利した軍を率いた司令官の名をしるせ。

Ⅱ. 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1519年にスペインを出発し、1522年に帰港したマゼラン（マガリャンイス）艦隊の航海は、最初の世界一周航海とされる。すでにフィレンツェの天文学者（イ）の説を信じたコロンブス（コロン）がアメリカ大陸に到達し、さらにパナマ地峡に到達した（ロ）により、アメリカ大陸とアジアの間に海があることが提唱されていた。マゼラン艦隊は、ポルトガルが達成した東回りでモルッカ（マルク）諸島に至る方法に対抗して、大西洋を経て西回りでそこに至ろうと計画した。1511年にマラッカ¹⁾を占領したポルトガルは、その後同諸島を原産地とするくあ>を求めて北モルッカのテルナテ島に到着し、この島のスルタンと交易関係を形成した。マゼランは、元来ポルトガル人で、マラッカに滞在した経験を持つ。交易活動をめぐりポルトガル王室と対立したマゼランは、スペイン王（ハ）の援助を得て、5隻の艦隊を組織し、西回りの航路を発見しようとした。

大西洋を横断した一行は、ブラジルの沿岸部に到達した。この地は、1500年にポルトガル人のインド艦隊提督（ニ）が漂着した地であった。マゼラン艦隊はこの地に滞在した後、アメリカ大陸南端の海峡から大洋に出て、そこを太平洋と命名した。途中グアム島と考えられる場所に寄港したが、島民と友好的な関係を形成できなかった。こうして一行は、フィリピンのサマル島に到着した。一行は人々に迎え入れられ、彼らの紹介により、食糧供給のためにセブ島に立ち寄った。しかし、この地でマゼランは地域間抗争に巻き込まれ、隣のマクタン島でくい>に討たれた。その後、艦隊はブルネイやミンダナオ島を経て、1521年11月にテルナテ島と対立関係にあったモルッカ諸島のティドーレ島に到達した。この地のスルタンは、一行を歓迎し、彼らはくあ>を満載して帰国の途に就いた。

東部インドネシア海域は島が多く暗礁が各地にあり、また潮流も複雑だった。そこでスルタンは、2名の水先案内人をつけてくれた。水先案内人は、ヒンドゥー教徒の間で寡婦が夫の後を追って燃えさかる炎に飛び込み殉死する風習がジャワ島にあることなどを、一行に語った。この風習は、インドでは（ホ）と呼ばれる。また東ジャワで滅亡の危機に瀕していた（ヘ）²⁾王国、シャムやカンボジアさらに中国³⁾の情報も得ることができた。こうして彼らはインド洋を横断し、喜望峰をまわりスペインに帰港した。約280名で出発した乗組員のうち、生き残ったのは18名のみだった。西回りでモルッカ諸島に至るルートは、ポルトガルの東回りに対抗できないことが判明した。しかし、この後スペインが中南米で銀鉱山の開発を進めると、メキシコで製造された銀貨をアカプルコからフィリピンのマニラに運ぶくう>船による貿易が開始され、太平洋横断ルートは重要な意義を持つ

に至るのである。

A. 文中の空所(イ)～(へ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<う>にあてはまる適当な語句を，それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び，その記号をマークせよ。

<あ> a. 胡椒 b. コーヒー c. 丁字 (クローブ) d. トウガラシ

<い> a. アラウンパヤ b. サヤ=サン c. チャクリ d. ラプラブ

<う> a. ガレオン b. 三段櫂 c. ジャンク d. ダウ

C. 文中の下線部 1)～3)にそれぞれ対応する次の問 1～3 に答えよ。解答はそれぞれ与えられた a～d から 1つずつ選び，その記号をマークせよ。

1. マラッカ王国に関する記述として正しいものはどれか。

- a. 元の遠征隊を撃退した
- b. シャムのスコータイ朝の攻撃を受けた
- c. ジャワのシンガサリ王国と抗争した
- d. 鄭和の遠征隊が寄港した

2. 16世紀前半のインドに関する記述として正しいものはどれか。

- a. ヴィジャヤナガル王国が隆盛した
- b. トウグルク朝が栄えた
- c. マラータ王国が登場した
- d. ムガル帝国でアウランゼーブ (アウラングゼーブ) が君臨した

3. 16世紀前半の明に関する記述として正しいものはどれか。

- a. 王守仁が陽明学を創始した
- b. 張居正が財政改革をはかった
- c. 土木の変が起こった
- d. 南京に首都が置かれた

Ⅲ. 次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

国民的統合を重視する近代国民国家は、領域内に存在する多様な文化社会の扱いをめぐりしばしば確執を生む。とりわけかつて帝国を形成していた領域が、国民国家の枠組みに転換した場合には、それが深刻なものとなった。

南アジアでは、ムガル帝国が1858年に滅亡した後、1877年にはイギリス支配下でインド帝国が成立した。¹⁾こうしたなかでイギリス人と協調する形で、1885年インド国民会議が結成された。しかし、1905年に（イ）が公布されると、国民会議は穏健派からティラクラの急進派に指導権が移り、翌年カルカッタで開かれた大会では、英貨排斥・スワラージ・スワデーシ・（ロ）の4綱領を決議した。一方イスラーム教徒は、国民会議とは別に、親英的な（ハ）を結成した。結局この対立は、1947年のインドとパキスタンの分離独立を導くこととなった。ただし、現在もインドには1億人を超えるムスリムが居住し、ヒンドゥー教徒との対立がしばしば生じている。

また清朝末期の中華帝国の枠組みをもとに建国された中華人民共和国には、漢民族以外にウイグルやモンゴル、チベットなど多様な民族集団が存在した。清朝時代、これらの諸集団は、大幅な自治を認められていた。²⁾

中華人民共和国では1953年より第1次五カ年計画が実行された。その後1958年より第2次五カ年計画を展開したが、この計画は失敗した。³⁾こうしたなかで1951年に中華人民共和国に組み込まれたチベットは、その国民統合に反発し、1959年チベット反乱（チベット動乱）を起こし、ダライ＝ラマ14世はインドに亡命した。その結果、中国とインドとの間で対立が深まり、1962年には中印紛争が起こった。劣勢に陥ったインドの首相（ニ）は、米ソに接近し、事実上非同盟中立主義を放棄した。なおチベットは、1965年に中華人民共和国の自治区となった。⁴⁾

そのほか中国とソ連の間には、国境問題が存在した。また中国とパキスタンとインドの間には、⁵⁾（ホ）の領有をめぐる国境問題が存在し、いまだ解決をみていない。元来国境地域は、周辺諸国の交流を仲介する役割を担っていた。しかし、国民国家は、国境地域が複数の国家に帰属することを認めないため、その領有をめぐりしばしば国家間の対立が深刻化する。例えば、カンボジアとベトナムの国境地域のメコン川下流域に居住したクメール人は、両国間を往来していた。ベトナム戦争後カンボジアのポル＝ポトは、この地域をベトナムから奪還しようと試み、ベトナムとの確執を招いた。その結果、1978年から1979年にかけてベトナム軍はカンボジアに侵攻し、ポル＝ポト政権を打倒した。⁶⁾国境問題が、国家間の大きな抗争に発展したのである。

- A. 文中の空所(イ)～(ホ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。
- B. 文中の下線部1)～6)にそれぞれ対応する次の問1～6に答えよ。
- ムガル帝国の宮廷で用いられた公用語の名をしるせ。
 - 清代のチベットに関する記述として正しいものを、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
 - 軍機処に統括された
 - 清朝の朝貢国となった
 - 清朝の直轄領となった
 - 清朝の藩部となった
 - これに関する記述として正しいものを、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
 - この期間に中ソ友好同盟相互援助条約が結ばれた
 - 人民公社が設立された
 - 大躍進をスローガンとした
 - 農業の集団化を進めた
 - 1961年に開催された第1回非同盟諸国首脳会議の出席者でない人物を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
 - エンクルマ
 - スハルト
 - ティトー
 - ナセル
 - 中ソの国境紛争は1969年に軍事衝突にいたったが、これは1950年代後半に一方の国が他方のとった外交路線を批判したことが原因の1つであった。どちらがどちらのいかなる外交路線を批判したのか、1行でしるせ。
 - その後、ベトナムはカンボジア人民共和国を樹立させた。その共和国の元首の名をしるせ。

【以下余白】

